

2017年11月20日

各 位

大京グループが取り組むICT活用

平成29年度「IT賞（奨励賞）」を不動産業界で初受賞

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口 陽、以下「大京」）は、本日、公益社団法人 企業情報化協会（所在地：東京都千代田区、会長：宇治 則孝、以下「IT協会」）主催の平成29年度（第35回）IT賞において、「IT奨励賞」を受賞しましたので、お知らせいたします。当社は、今年3月より、不動産業界では初となる、社内のITヘルプデスク業務にIBM Watsonを活用したチャットボット「hitT0」を社内業務効率化の一環として導入していることを評価され、今回の受賞に至りました。なお、平成13年より「IT賞」と名称変更以降、不動産業界では初の受賞となります。

■ 当社の受賞内容および受賞理由について

受賞名：IT奨励賞 「労働人口減少時代に向けた、Watsonチャットボットの活用」

大京は、2016年10月に発表した中期経営計画「Make NEW VALUE 2021～不動産ソリューションによる新・価値創造～」において、新たな取り組みテーマの1つに「研究開発の推進」を掲げた。その一環としての活用を進めており、最終的に、社内問い合わせに対する自動回答をAIチャットボットを利用して実現させるべく、システムヘルプデスクへのWatson(hitT0)の導入にターゲットを絞り対応を進めた。

社内のITヘルプデスク業務での「hitT0」の活用は、業務効率化を図るとともに、運用のノウハウを蓄積しており、将来的にはそのノウハウを生かし、お客さまから寄せられる、住まいに関するさまざまなお問い合わせ対応業務への活用とAIの活用によるお客さま満足度を高めることを目指している。

「人工知能、Watson、機械学習」の実体験を活かし、今後、事業部門の業務改善や、最終的には会話型対応、音声認識等も取り入れたお客さま対応（コールセンターへの導入）へと広げて行く同社の姿勢はIT奨励賞に値するものと評価した。（IT協会）

■ IT賞について

IT賞は、わが国の産業界ならびに行政機関などの業務における事業創造、効果的ビジネスモデルの構築・促進、生産性向上等、“ITを高度に活用したビジネス革新”に顕著な努力を払い成果を挙げたと認めうる企業、団体、機関および個人に対してIT協会が授与するもので、昭和58年に創設されました。35回目となる今回は、計33社29件が受賞しました。



※詳細はIT協会のホームページをご参照ください。

<https://www.jiit.or.jp/information/detail/info35itaward.html>

大京グループは、引き続きAIを活用した顧客サービスの提供により、お客さま満足度を高めるとともに、社内の業務にも活用することで労働生産性の向上を図ってまいります。

◆ このニュースリリースに関するお問い合わせ先 ◆
株式会社大京 広報・IR室（堀口） TEL:03-3475-3802

(参考) 過去リリース

不動産業界初、大京が社内のITヘルプデスク業務に
IBM Watson を活用したチャットボットサービス「hitT0」を導入
⇒ <http://www.daikyo.co.jp/dev/files/20170314.pdf>

■会社概要

大京は、半世紀にわたり、全国主要都市において37万戸超の「ライオンズマンション」などを提供してきました。現在は、マンション開発にとどまらず、グループ12社とのシナジーを発揮し、建物の維持管理をはじめ、中古売買、賃貸管理、リフォーム、再開発・建て替え事業等を展開し、グループ一体のワンストップ・サービス体制でお客様のライフサイクルをサポートする企業グループを形成しています。

(詳細はウェブサイトをご参照ください。<http://www.daikyo.co.jp/>)

会 社 名：株式会社 大京
本 社：東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目24番13号
代 表 者：代表執行役社長 山口 陽
設 立：1964年12月
資 本 金：411億7,100万円(2017年3月31日現在)
事 業 内 容：不動産開発、不動産販売、都市開発